

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330532125	教育実習指導 (幼) Teaching practice guidance	永津利衣		専門	1	選択	3後期

科目の概要

「教育実習指導 (幼)」は、現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け (DP2)、自立した社会人として自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢 (DP3) をもった保育者の養成を目指している。
 「教育実習 (幼稚園)」は「観察・参加・実習」という方法で教育実践に関わることを通して、教育者としての愛情と使命感を深め、将来教員になる上での能力や適性を兼ねると共に課題を自覚する機会 (*1) であり、これまで学んできた領域や教職に関する専門的な知識・理論・技術等を保育・教育の現場で実践し、振り返りを通して理解を深め、実践力を養う重要な学修体験である。本科目では「教育実習 (幼稚園)」に向け、その意義や心得を理解した上で、実習が円滑に行われ実践的な学びが深まっていくよう、実習時期の園における子どもの姿を想定した教材研究や指導計画の立案、模擬保育、目標設定と振り返りの方法等について演習を交え学修する。事後指導では、実習の振り返りから今後の自己課題を理解していく。
 (*1) コアカリキュラム「教育実習 (学校インターンシップ (学校体験活動) を含む。)」より引用

学修内容	到達目標
① 教員免許取得までに修得すべき専門的知識・技能の具体的な把握を踏まえて、教育実習の意義を理解する。 ② 教育実習生として遵守すべき義務等について理解し、教育実習に参加するための準備を整える。 ③ 実習の振り返りを通して、実習で得られた学びと理論を統合させ、今後の課題についてまとめる。	① 教員免許取得までに修得すべき専門的知識・技能を具体的に把握し、教育実習の意義について理解し、説明することができる。 ② 教育実習生として遵守すべき義務等について十分に理解し、その責任を自覚した上で、意欲的に教育実習に参加する準備を整えることができる。 ③ 実習の振り返りを通して、実習で得られた学びと理論を統合させ、今後の課題についてまとめることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例**

前に踏み出す力	主体性	基本的な子ども対応を理解した上で、子どもの学びにつながる活動を自分なりに考え、言葉や動きを工夫しながら目標達成につなげることができる。
	働きかけ力	他の学生の活動を見て前向きに意見を述べるなど、協力して活動をまとめることができる。
	実行力	子どもを目の前にした時のことを想定して、工夫して話したり演じたりすることができる。また、これまでの学習を基に自分の考えを加えて資料を作成し、提示することができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達段階を理解した上で、子どもの学びを実現するために、どのような環境設定や援助が必要か考えることができる。
	計画力	グループや個人の活動発表に向けて、子どもに対応することを想定して計画を立てることができる。
	創造力	
チームで働く力	発信力	自ら調べ追究した課題について、説得力をもってプレゼンテーションすることができる。
	傾聴力	
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	子どもの前に立つことを想定して、身だしなみや振る舞い、言葉遣いを整えたり、時間を守ったりすることができる。また、示された課題を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

実習の手引き、『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』わかば社、プリント等の配布
 参考文献：幼稚園教育要領解説

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「エクスターン (I・II)」および「保育実習」等からつながる実習領域の科目であり、来るべき「教育実習 (幼)」の事前指導・事後指導に該当する科目である。4年次に履修する「教職実践演習」での総合的なまとめにつながる。
 資格との関連：幼稚園教諭一種免許状 (該当者は小免を含む)

学修上の助言	受講生とのルール
幼稚園等での実習に向け、実習前の準備学習と実習後の振り返りを行う。実習をより有意義なものにするために、そして、実習での学びをより深化させるために、学習への取り組みと省察 (reflection) に対する真摯な姿勢を期待する。	科目の性格上、基本的にすべて出席する。ただし、やむを得ない事由による欠席および遅刻・早退等の取り扱いについては、本学の学則等に則って判断する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	50	①		✓	・指導案（10点） ・レポート（日誌の書き方、目標、振り返りにおいて適切な理解と文章化ができる）（40点）
				②		✓	
③				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	・模擬保育の実施（20点） ・実習発表（実習での学びと理論の統合、今後の課題が明確にまとめられている）（20点）		
			②	✓			
	③		✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）基本的な子ども対応を理解した上で、子どもの学びにつながる活動を自分なりに考え、言葉や動きを工夫することができる。 （働きかけ力）他の学生の活動を見て前向きに意見を述べるなど、協力して活動をまとめることができる。 （実行力）子どもを目の前にした時のことを想定して、工夫して話したり演じたりすることができる。 また、これまでの学習の上に自分の考えを加えて資料を作成し、提示することができる。 （課題発見力）子どもの発達段階を理解した上で、子どもの学びを実現するために、どのような環境設定や援助が必要か考えることができる。 （計画力）グループや個人の活動発表に向けて、子どもに対応することを想定して計画を立てることができる。 （発信力）自ら調べ追究した課題について、説得力をもってプレゼンテーションすることができる。 （規律性）子どもの前に立つことを想定して、身だしなみや振る舞い、言葉遣いを整えたり、時間を守ったりすることができる。また、示された課題を期限内に提出することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる有機的な学びと明確な課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポート・発表資料により総合し、全体が十分に達成されている。</p> <p>A(優) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる学びと明確な課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポート・発表資料により総合し、全体が達成されている。</p>	<p>B(良) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる学びと課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポート・発表資料により総合し、おおむね達成されている。</p> <p>C(可) 教育実習の意義の理解、専門的知識・技能の習得、実習生としての心構えや責務、振り返りによる学びと課題の獲得について、指導案、模擬保育、PCRシート・レポート・発表資料により総合し、最低限認められるレベルで達成されている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	【オリエンテーション】 ・授業の概要と到達目標、成績評価の基準について知る。	講義・演習	講義で学んだ内容の要点が理解できている。	(予習) シラバスを読んでき。 (復習) 授業で学んだ内容をPCRシートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
2	【事前指導】 実習生としての心構え ・教育実習の意義と目的について学ぶ。 ・遵守すべき事項、マナーについて理解し、実習への姿勢を高める。	講義・演習	講義で学んだ内容(教育実習の目的の理解、遵守事項等)が理解できている。	(予習) 手引きの指定された部分を読む。 (復習) 講義で学んだ内容をPCRシートにまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
3	【事前指導】 保育実技の習得① ・発達をふまえた保育実技について ・部分指導案の作成 ・ICTの活用	講義・演習	部分指導案を作成できる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 指導案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
4	【事前指導】 保育実技の習得② ・模擬保育を実施 ・ICTの活用	演習・ディスカッション	保育実技が実施できる。	(予習) 模擬保育の準備を行う。 (復習) 模擬保育を振り返り、指導案を修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
5	【事前指導】 幼稚園の一日 ・教育実習の一日の流れを踏まえ、責任実習について理解する。 ・責任実習に向けた全日指導案を作成する。	講義・演習	全日指導案を作成できる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 全日指導案を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
6	【事前指導】 各種書類の作成 ・日誌の表紙、実習生連絡票(写真貼付)、誓約書、出席票、評価票、巡回指導報告書、健康の記録1,2等の記入 (実習先が決定していない場合は、園名は空欄にする。)	演習	各種書類に必要な事項が記入されている。	(予習) 写真など書類作成に必要なものを準備をする。 (復習) 各種書類の記入部分を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
7	【事前指導】 実習園の理解 ・実習園について調べ、概要をつかむ。 (日誌に記入) (実習先が決定していない場合は、後の回へ移す。)	演習	・実習園の概要を理解することができる。	(予習) 手引き・パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 実習園の概要を理解し、日誌への記入を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
8	【事前指導】 実習日誌① ・実習全体の目標と、日々の目標の立て方について学ぶ。 ・実習目標の下書きをする。	講義・演習・ディスカッション	目標の立て方を理解し、実習目標の大筋を立てることができる。	(予習) パーフェクトガイドの指定された部分を読む。 (復習) 目標の立て方について、要点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	【事前指導】実習日誌 ②毎日の記録 ・観察・参加について ・「保育の流れ」の書き方と3週間の観点の変化 ・「目標」に照らした「振り返りと学び」の書き方	講義・演習・ディスカッション	日々の日誌の目標に照らした振り返りを書くことができる。	(予習) パーフェクトガイドの指定されたの部分を読む。 (復習) 日誌の書き方について、要点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
10	【事前指導】実習日誌 ③毎日の記録(場面) ・関与観察について学ぶ。 ・場面の記録を書く目的、書き方について学ぶ。 ・動画を見て場面記録を書く。(ICTの活用)	講義・演習・ディスカッション	記録の目的を理解し、場面記録で事実と考察を分けて書くことができる。	(予習) パーフェクトガイドの指定されたの部分を読む。 (復習) 部分の記録を清書し、要点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
11	【事前指導】実習日誌 ④ ・自己評価の意義と方法 ・評価表の書き方について学ぶ。	講義・演習	自己評価の意義と方法を説明することができる。	(予習) パーフェクトガイドの指定されたの部分を読む。 (復習) 授業の学びを活かして場面記録を修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
12	【事前指導】実習直前の確認 ・実習目標を確認する。 ・現地オリエンテーションの準備、訪問指導について。 ・守秘義務やマナー、実習初日の心得、提出物や持ち物等、最終日のプレゼント、礼状の下書き、および事後指導について確認する。	講義・演習	実習の流れについて理解し、必要な心構えや準備ができる。	(予習) 心構え等を読み返し、自己紹介を考えてくる。 (復習) 現地オリエンテーション後、目標を清書し、報告書を作成する。授業や現地オリエンテーションをふまえ、実習に向けた準備を行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
13	【事後指導】実習の振り返り ・得られた成果および今後の課題についてまとめる。 ・グループで振り返りを共有する。	演習	実習の学びと今後の課題をまとめることができる。	(予習) 発表資料作成に向け、資料を用意する。 (復習) 発表資料の課題部分を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
14	【事後指導】実習発表会の準備 ・実習での学びと課題をまとめ、発表資料を作成する。 ・ICTの活用	演習	実習を通して学習した内容をまとめることができる。	(予習) 発表資料作成に向け、資料を用意する。 (復習) 発表資料の課題部分を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
15	【事後指導】実習報告会 ・各自の学びと課題を共有するとともに、多様な保育・教育の在り方を知る。 ・自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。	演習、ディスカッション	作成した発表資料をもとに、実習内容とその学びについて伝えることができる。	(予習) 発表の準備をする。 (復習) 発表会をもとに、気づきや新たな考えについてまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330531126	教育実習指導(小) Teaching practice guidance	小倉弘之			1	選択	3前期

科目の概要

DP3の教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付けた教師の育成を目指している。また、こどもの生活学科の目標である「よき教育者の育成」を受け、その後に履修する教育実習につながる科目であり、将来地域社会等で教育者として活躍・貢献できる人材育成の基盤ともなる(DP5)。実習の目的を理解し、事前に実習生としての心構えや遅刻欠席をしない勤務態度、教師や子どもに対する言葉遣いや接する態度、実習記録や指導計画・教材の作成などの準備活動を進めていく。そして、指導案作成や模擬授業を通し教育実習に向けての力量形成を図っていく。実習後は感想や反省点を出し合い、学生同士が話し合う中で、共通の問題意識を持ち考えを深めたりする。
小学校、中学校で校長及び教育委員会で指導主事としての指導経験があり、その経験を生かして実習指導を行う。

学修内容	到達目標
① 小学校における実習の目的を理解し、教育実習への心構えを形成する。 ② 記録や実習日誌の書き方、学習指導案の作成等を理解・準備し、模擬授業を行う。 ③ 実習前に各自の課題を自覚しておき、対応策を具体的に立てる。	① 小学校における教育実習の目的を理解し、実習への心構えを形成することができる。 ② 授業で修得した教科の知識や技能を活用し、学習指導案の作成、そして学習指導要領の趣旨を生かした模擬授業を行うことができる。 ③ 教育実習に対する各自の目標を明確にし、そのための準備や対応策を考え教育実習に向けての課題を解決することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	記録や実習日誌の書き方、指導案の作成等を理解・準備することに取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	模擬授業を行い、実習の準備活動に取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	指導案を作成するために、課題をつかむことができる。
	計画力	
	創造力	子どもの理解度や反応を想像し、その際の教師の手立てや留意点を考え、模擬授業を行うことができる。
チームで働く力	発信力	記録や実習日誌の書き方、指導案の作成等を調べたことや、指導案や模擬授業について検討したこと等を述べるができる。
	傾聴力	他者の模擬授業では、子ども役としてしっかり聞き、意見発言ができる。また振り返りでは、授業者が授業改善に生かせる観点から考えを述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	指導案の書式に従った指導案の作成、学習理解に繋がる資料等の準備、リフレクションペーパーの作成を期限までに行うことができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。適宜資料を配布する
 参考文献：「小学校学習指導要領（平成29年告示）」、「小学校学習指導要領（平成29年告示）国語、算数、特別の教科 道徳偏」

他科目との関連、資格との関連

教育実習指導は、教育実習の基盤となる科目である。
 ・他科目との関連：教職に関わる全ての科目
 ・資格との関連：小学校教諭1種免許状

学修上の助言	受講生とのルール
・模擬授業に向けて指導案を作成し、必要な教材・教具や資料等を準備すること	・教育実習をしっかりと行う（指導者として児童の前に立つ）という自覚をもち、本授業に臨むこと。 ・グループでの準備・活動を他者と協調しながら協働して行うこと。 ・提出期限の遅れや未提出、無断欠席は厳禁とする。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	60	①		✓	知識の獲得（教育実習でのマナーや留意事項、学習指導を行う上での知識・技能）：50% 知識の活用（教育実習に臨む、授業実践を行うことへのレポート作成）：50%
				②		✓	
③				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	課題の解決（指定された教科、領域の教材研究、指導案作成、模擬授業）：100%		
			②	✓			
	③		✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 実習日誌の書き方、記録の取り方、指導案の作成の方法、教材・教具の作製等を調べたり、考えを整理・文章化・表現したりすることができる (実行力) 模擬授業を行い、実習の準備活動に取り組み続けることができる (課題発見力) 指導案を作成するために、課題をつかむことができる (創造力) 発想を転換し、新たな視点をみつけて模擬授業を行うことができる (発信力) 実習日誌の書き方、記録の取り方、指導案の作成の方法、教材・教具の作製等を調べたことや、指導案についてのアイデアや、模擬保育について検討したこと等述べる (傾聴力) 他者の、実習日誌の書き方、記録の取り方、指導案の作成の方法、教材・教具の作製等を調べたことや、指導案についてのアイデアや、模擬授業について検討したこと等について、質問・確認を行い理解することができる (規律性) 授業ルールを守ることができる		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Aは、自分ならばこうする等、自分なりの考えを示すことができるなど、到達目標に照らし合わせて80%以上達成できていること。</p> <p>Sは、自分なりの視点をもって学修した内容について考え、説明することができるなど、90%以上達成できていること。</p>	<p>学修した内容を過去の経験と結びつけながら具体的に述べるなど、70%以上達成できていること。</p> <p>※レベルBを満たしていない発表・レポート（作品）、又は提出遅れはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・教育実習の意義と目的について考える。 ・小学校の教育について学習する。	・講義 ・演習	・実習生としての心構えや実習態度について、議論した意見を簡潔にまとめてレポートを作成することができる。	(予習) ・小学校学習指導要領など小学校教育に関わる資料を読み、実習について準備する。 (復習) ・実習生としての実習態度等について、不明瞭な所を明瞭にする。(提出: Google Classroom)	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	・各自治体における求める教師像について理解する。 ・これまでの受入先からの意見・要望から実習生としての心構え、態度、必要な資質等について考える。	・講義 ・演習・ディスカッション	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートを作成することができる。	(予習) ・子どもの発達段階や教諭の援助に関する本を読んでくる。 (復習) ・小学校における教育について不明瞭な所を明瞭にする。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	・実習生に求められているものや心構えについて考える。 ・実習生の一日の流れ、期間中の流れ、日々の目標の立て方について学習する。 ・記録および実習日誌の書き方を理解する。	・講義 ・演習	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートを作成することができる。	(予習) ・記録や実習日誌の書き方について記してある資料を収集してまとめ、次回持ち寄る。 (復習) ・小学校の実習に向けての取り組みについて不明瞭な所を明瞭にする。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	・学習指導案の作成の仕方について理解する。	・講義 ・演習	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートすることができる。	(予習) ・指定された教科、単元の指導案を検索し持参できるようにする。 (復習) ・本時で扱った指導案をモデルとして指導案を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	・ティーチングスキル: 授業環境づくりと授業運営、発声・板書等について理解する。	・講義 ・演習	・本時を通して学んだり考えたりしたことを簡潔にまとめてレポートすることができる。	(予習) ・提示資料を読み、そのポイントをまとめる。 (復習) ・本時の学修で理解したことや疑問点などをまとめ、レポートを作成する。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	実際の授業VTRを視聴し、これまでのティーチング・スキルについて理解を深める。	・講義 ・グループによる演習・ディスカッション	・小学校での授業VTRを観て、よさや改善点を指摘することができる。	(予習) ・模擬授業の学習指導・教材研究をする。 (復習) ・本時での学修を通して、自分の授業づくりの見直し等についてレポートにまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	・教材研究の仕方とそのポイントについて理解し、実際に指導案を作成する(国語)。	・講義 ・グループによる演習	・教材指定された題材の教材研究を行い、指導案を作成することができる。	(予習) ・指定された題材の授業をどのように行うかまとめる。 (復習) ・国語科の指導の大切な点や注意すべき点についてまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(国語)①。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習) ・指定された題材の学習指導案を作成する。 (復習) ・自らの国語科の指導に関する改善点や方針をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(国語)②。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習) ・指定された題材の学習指導案を作成する。 (復習) ・自らの国語科の指導に関する改善点や方針をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・教材研究の仕方とそのポイントについて理解し、実際に指導案を作成する(算数)。	・講義 ・グループによる演習	・指定された単元の教材研究を行い、指導案を作成することができる。	(予習) ・提示された算数科の問題について、どのように指導するかまとめる。 (復習) ・算数科の指導に関して重要な点や留意すべき点についてまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(算数)①。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習) ・指定された単元の学習指導案を作成する。 (復習) ・自らの算数科の指導に関する改善点や方針をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(算数)②。	・マイクロ・ティーチング ・グループによる演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・互いのマイクロ・ティーチングについて、よさや改善点を示すことができる。	(予習) ・指定された単元の学習指導案を作成する。 (復習) ・自らの算数科の指導に関する改善点や方針をまとめる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・教材研究の仕方とそのポイントについて理解し、実際に指導案を作成する(道徳)。	・講義 ・演習	・道徳授業を行うに際しての留意点を述べる ことができる。 ・道徳科指導案作成に際しての留意点を述べる ことができる。	(予習) ・指定された資料について教材研究を行い、指導案を作成する。 (復習) ・道徳授業のポイントを述べる ことができる。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・指導案に基づきマイクロ・ティーチングを行う(道徳)。	・マイクロ・ティーチング ・演習 ・マイクロ・ティーチングのフィードバック	・模擬授業を通して学んだり考えたりしたこと、改善点を簡潔にまとめる ことができる。	(予習) ・指定された単元の学習指導案を作成する。 (復習) ・道徳の模擬授業を経験しての考察をまとめる。 (提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	【オンデマンド】これまでの取り組みを共有し、成果を確認するとともに、今後の学び方や実習に向けての課題をもつ。	・講義	・実習に向けてのまとめを整理し文章化することができる	(予習) ・演習を通して学んだこと等をまとめる。 (復習) ・これまでの学びをまとめると同時に今後に向けての課題等を整理・文章化して提出する。(提出: Google Classroom)	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力